

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	知識メディアデザイン特論		
英文授業科目名			
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報通信工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報通信工学専攻		
担当教官名	柏原 昭博		
居室	西2-119		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kasihara@ice.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>知識社会においては、人間の知的活動を支える情報メディア（知識メディア）が果たす役割は非常に大きい。知識メディアの実現には、情報通信技術だけではなく、それを活かして認識・理解・学習といった人間によるメディア情報の知的処理を支援するための理論や方法論が必要となる。今後の知識社会の発展には、こうした知識メディアに対する理解を深めるとともに、知識メディアをデザインするための基本的な知識や技能が不可欠である。本講義科目では、学習支援を具体的な題材として、知識メディアのデザイン方法論を講義する。特に、知識メディアの基本概念やデザインのための諸理論・基盤技術を理解することを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし。

【教科書等】
特に指定しない。適宜、資料や論文を配布する。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

知識メディア（学習支援システム）に関わる諸概念およびデザイン方法論を講義する。また、学習支援システムに関する最前線の研究を調査し、輪講形式で発表してもらおう予定である。具体的には、以下の通りである。

1. 知識メディアと学習支援システム
2. 学習支援における基礎概念
3. 学習支援の基礎分野
4. 学習モデル
5. 学習支援システムのデザインおよび事例紹介
6. メタ学習支援のデザイン
7. 研究最前線（輪講）

【成績評価方法および評価基準】

講義内容についてのレポート（50%）と輪講における発表内容（50%）で評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問や相談は、適宜eメールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

講義の前提となる知識をできるだけ必要としないように講義を進める予定です。人間の知的活動、特に学習という知性の本質に興味があり、情報通信技術を使っていかに支援するのかに興味のある方はぜひ受講してください。